

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	萩市家庭教育支援チーム (呼称: 萩東中学校区子育て支援チーム「ぎゅっと」) URL: http://edu.city.hagi.lg.jp/higashi-jh/
②活動拠点	萩市立萩東中学校
③活動範囲	萩東中学校区(萩東中、明倫小、椿東小、椿西小)
④組織体制	<u>3</u> 人 家庭教育アドバイザー3人 (学校運営協議会委員1、元学校運営協議会委員2)
⑤活動開始年度	平成30年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 萩東中学校 (TEL) 0838-25-2721 (E-mail) higashi-jh@edu.city.hagi.lg.jp

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> <input checked="" type="checkbox"/> その他(不登校生徒・児童との関わり)
②活動対象	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 <u>1 ぎゅっとサロンの開催</u> 萩東中学校の学校課題の一つが、不登校生徒を減少させることである。 課題解決に向け、登校しぶりや不登校の状況にある生徒(接続する小学校の児童を含む)を対象に、家庭教育アドバイザー等と一緒に創作活動に取り組むことで、多様な世代の人々と関わり、自分に自信がもてるようになって、学校復帰や地域との関わりへのきっかけにしていきたい。

	<p>第1回は、令和2年1月28日(火)に教育支援センター「萩輝きスクール(萩市教委所管)」で開催した。なお、第2回は3月に予定していたが、感染症対策のために延期となった。今後、当面は「萩輝きスクール」で開催を続け、運営のノウハウ等を確立した後、萩東中学校のコミュニティルームに活動の拠点を移していく予定である。</p> <p>なお、参加者については、対象児童・生徒だけでなく、その保護者や地域住民等に拡大していき、対象児童・生徒の支援や、その保護者の困り感や不安を抱えた保護者の支援につなげていきたい。</p> <p><u>2 訪問事業</u></p> <p>教職員が行う家庭訪問に、学校の要請に応じて、家庭教育アドバイザーが同行し家庭訪問を行い、不安や悩みに耳を傾け、寄り添っていく。孤立している家庭等、支援が必要な家庭には、学校と役割分担をし、悩みの相談相手や適切な情報の提供などの活動を行っている。</p> <p><u>3 ほごしゃカフェの開催・サポート</u></p> <p>中学校で始めた「ほごしゃカフェ」を、令和元年度からは、接続する3つの小学校でも開催を始めた。運営のノウハウをもつ家庭教育アドバイザー等が小学校等で運営サポートを行っている。家庭教育や学校との関わり等、様々なテーマを話題にしていき、校種を越えて保護者同士のネットワークを広げていく。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p><u>1 ぎゅっとサロンの開催</u></p> <p>参加者 : 14人(中学生8、小学生1、教育センター職員5) アドバイザー : 3人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りアンケートでは、8人の生徒が楽しかった、参加してよかったという肯定的な回答をしていた。 ・参加したセンター職員にもとても好評であり、参加者14人全員が次回も参加したいと回答していた。 ・作品制作を通じて、大人と子どもの様々な会話が生まれ、交流が深まっていた。 <p><u>2 訪問事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、教員と家庭教育アドバイザーが同行して家庭訪問したケースはまだないが、家庭教育アドバイザーが、教職員に家庭支援に係るキーパーソンを紹介したり、学校で行う生徒指導部会に参加し意見を述べたりしながら学校と連携した家庭支援体制の構築を図っている。

	<p>3 ほごしゃカフェの開催・サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育アドバイザーの支援の下、小学校でも「ほごしゃカフェ」が開催された。小学校では、中学校教員が参加し、入学前の6年生の保護者の相談に乗ったり、就学前の保護者がベテラン保護者に就学前の家庭教育をアドバイスしたりしていた。中学校では、給食を食べながら「食育」をテーマに話をしたり、授業参観をした後、家庭学習の方法を保護者同士で情報交換したりした。また、高校教員が参加した時は、保護者からの進学等の質問にも回答してもらった。 ・知り合いが少なかった保護者は、このカフェに参加後、一緒に食事に出かける仲間が増えるなど、保護者同士のネットワークの構築や強化が進んでいる。
<p>⑤活動財源</p>	<p> <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 () </p>